

縄文に触れよう

遊佐町埋蔵文化財調査室見学会と縄文土器の「拓本」ワークショップ

2023.
11.11.SAT
13:00-16:00

遊佐町一帯には、縄文時代の遺跡がいくつもあり、これまでの発掘調査によって出土した土器や石器、木器（あるいは漆器）などが遊佐町の埋蔵文化財調査室に多く保管されています。この講座では埋蔵文化財調査室を訪問し、普段見ることのできない様々な遺物を見学するとともに、その一部に実際に触れることができる拓本のワークショップを開催します。拓本とは、調査の一環として行われる、土器や石器などの模様や凹凸を、墨汁などを使って紙や布に写しとる作業です。専門家の知見や指導を交えながら、実際に出土した遺物に触れる貴重な機会を通して、縄文文化を一緒に楽しみましょう。



遊佐町杉沢遺跡出土の土器（縄文時代）
埋蔵文化財調査室（埋蔵文化財調査室）

ゲスト講師 青野友哉（東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科長 准教授）1972年、北海道小樽市生まれ。専門は縄文時代の考古学。現在は福島県立博物館収蔵展示委員、国史跡小山崎遺跡整備基本計画策定委員（遊佐町）も務めている。

講師 金野史弥（遊佐町教育委員会文化係 主事）生まれも育ちも遊佐町の勤続10年目。遊佐町の文化財保護に関する仕事を行っており、民俗芸能、施設管理、天然記念物等の業務担当を経て令和4年度より埋蔵文化財関連業務を担当。現在は国指定史跡である小山崎遺跡の整備計画策定を行っている。

主催：トリウミヤマアカデミー×遊佐町教育委員会文化係
日時：2023年11月11日（土）13:00～16:00
場所：遊佐町埋蔵文化財調査室（西遊佐まちづくりセンター敷地内）

参加費：無料
お問い合わせ：info@toriumiyama-academy.com
ホームページ：toriumiyama-academy.com/posts/ya11



Tori Umi Yama
Academy